

町政覚え書き

第30回 極点社会を脱し、“地方拠点都市創造”への合意形成が重要 住民懇談会で幅広いご意見を拝聴して

大河原町長 伊勢 敏

大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためと創生懇談会が7月24、26日に町内5か所...

【企業誘致・産業】

川根工業団地の魅力の強化 地元採用を条件とする誘致 持続可能な未来型企業の誘致...

【雇用】

結婚しやすくする正規雇用・終身雇用を促進する企業への支援 子育て及び在宅介護を理解し、支援する企業風土の醸成...

【福祉・健康】

子育て支援策の一層の強化 在宅介護の促進・支援策 老人ホームへの町の支援策...

【教育・文化・スポーツ】

公民館の充実・新たな整備 体育施設の拡充・集約化 親の社会参加促進・社会科教育の充実による結婚観の醸成...

【その他】

定住人口増対策を広域連携で 町民バスの運行及び広域連携 交通の利便性の一層の強化...

住民交流の施設の拡充

情報政策の強化／仲人会の設立 以上のご意見から、本町の 「創生総合戦略」策定に際し、 『子育てや介護がしやすい働き方への改革、人口を流出させない先端的持続可能な企業立地促進、魅力ある子育て環境及び教育環境の整備、健康増進に勤しめる協働社会や在宅介護を重視する福祉政策の推進などによる《活力ある長寿健康社会の創造》を総合的に推進する政策の重要性を改めて認識させて頂いた。

また、広域連携のご提言が 数名からあり、印象に残る。 昨年5月に発表された増田レポートは、子どもを産む20〜39歳の女性人口が2040年までに5割以上減る自治体を「消滅可能性都市」と位置づけた。増田氏は、東京一極集中の現状を「極点社会」と表現し、その対極に位置付けた「地方拠点都市」の形成を提唱した。地方拠点都市とは、自治体が広域的に連携し、東京への人口の流れを食い止めるための「ダム機能」を果たす地域や自治体連合である。 本町はこれまで、中核病院や夜間急患センターで医療や仙南地域広域行政事務組合で消防・滞納整理・介護認定審査・衛生(クリーンセンター)・教育文化(えずこホール)・斎苑など様々な政策分野において広域連携を推進してきた。 さらに現在、本町は「みやぎ県南水素エネルギープロジェクト協議会」の事務局を担い、再生可能エネルギーや林業の6次産業化を実現する環境先端技術を有する企業立地の実現に向け、林業関係者と広域的な連携を模索している。 今後は、町の創生とともに、仙南地域全体での企業誘致、ワークライフバランス、ブランド構築、観光、環境、教育、防災、公共交通などで政策連合を拡充し、「ダム機能」を果たす「地方拠点都市創造」への合意形成が重要課題になると思われる。 【8月15日】

夏の夜空を彩りました

第43回おおがわら夏まつり

8月8日、長い伝統を誇る「第43回おおがわら夏まつり(主催:おおがわら夏まつり実行委員会)が白石川右岸河川敷公園で開催されました。今年、過去最多となる約5,000発の打ち上げ花火と約300メートルのナイアガラが、町内外から集まった約2万1千人の人たちの目を楽しませました。会場では次々と打ち上がる超特大スターマインなどの鮮やかな色の光と迫力ある音との競演に、拍手や歓声が沸き起こっていました。そしてフィナーレのナイアガラでは、白石川の水面に映し出された逆さナイアガラが、より一層幻想的な世界を作り上げました。



夜空に大輪の花を咲かせた 迫力満点のスターマイン!!



スケールの大きさに圧倒される ナイアガラ。

お楽しみがいっぱい

桜保育所「さくらやんちゃっこまつり夏まつり」

8月20日、桜保育所で毎年恒例の「さくらやんちゃっこまつり夏まつり」が開催されました。おまつりでは、先生たちをはじめ園児たち全員が浴衣や甚平姿に身をまとい、夏らしさを演出していました。おまつりが始まると園児たちは、保護者のかたち手作りのキャラクターのおめんが当たるくじ引きや、園児たちの手作りによるわなげやきんぎょすくいなど、温かみのあるゲームコーナーとお菓子のコーナーなどをそれぞれ回りながら、お祭りの雰囲気を楽しみました。中でも一番長い列ができていたのが「さくらっきーのへや」で、さくらっきーに触れたり握手したりした園児たちは、「ふわふわして、かわいい」などととても満足した様子でした。



手作りわなげ結構 難しいぞ!!



▲さくらっきーとふれあう園児たち。

宝くじは

豊かさ築くチカラ持ち

「コミュニティ助成交付金」で 地域活動の活性化



今年度の交付金で整備された備品(金ヶ瀬5区)。各種行事での活用を通して、コミュニティ活動の活性化が期待されます

◎平成27年度 宝くじ助成金交付団体(大河原町)

Table with 3 columns: 団体名, 助成額, 購入備品内容. Row 1: 金ヶ瀬5区, 230万円, 会議用テーブル、イス、音響設備など

(財)自治総合センターでは、地域コミュニティの健全な発展を図るため、「宝くじ」の収入を基に「コミュニティ助成交付金」を設置し、さまざまな地域活動を行う団体を応援しています。平成27年度は、全国で合計1448団体に助成金を交付しました。大河原町からは金ヶ瀬5区が助成金の交付を受けました。 企画画財政課 ☎5312112



駅前図書館今月の新刊 「まちの本棚」

一般/天皇陛下が愛した洋のレシピ 日々の献立から特別な日のメニューまで、天皇陛下が愛した洋のレシピを、身近な食材と作り方で、家庭でも再現して味わえるようにしたレシピ集、食にまつわる宮中のエピソードも紹介する。 小説/幽霊塔 江戸川 乱歩/著 宮崎 駿/カラー口絵

石田 優子/著 「借成社」 「被爆(ひばく)樹木」を知っていますか? いまも広島で生きる、原爆をたえた木「被爆樹木」。一本一本が語りかけるなにかをさがして、樹木医と広島市の街を歩き、原爆の体験をきいて、木の専門家に会いにいこう。被爆樹木と原爆について、ドキュメンタリー映像作家がつづったノンフィクション。被爆樹木マップ付き。 児童/しばしとどめん北斎羽衣

花形 みつる/著 「理論社」 ある名月の晩、父親が拾ってきた老人は、葛飾北斎だった。学校に行けなくなったボクの前にコッゼンと現れた美の巨人・北斎。彼が現代にやって来た目的とは? 時空を超えたアートの物語。 絵本/およげないさかな

せな けいこ/作、絵 【ポプラ社】 うみのそとで、さかなの子どもたちが、たくさんうまれたけど、あれ? このこはおよげないって。あ、どうして? およげないんだら? およげないから、かいていをはっていったさかなのこは、なみうちぎわで、やっぱりおよげない、にんげんのおとこのことであいました。ふたりは、スイミングスクールにかよったこと...